

#2

Attorney Docket No. 1359.1059

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Akinori IWAKAWA

Application No.: Group Art Unit:

Filed: November 29, 2001 Examiner:

For: INTRODUCTION SYSTEM

JC821 U.S. PTO
09/995815
11/29/01



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-215759

Filed: July 16, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: November 29, 2001

By: H. J. Staas
H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC821 U.S. PRO
09/995815
11/29/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2001年 7月16日

出願番号
Application Number:

特願2001-215759

出願人
Applicant(s):

富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年10月26日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願
 【整理番号】 0195066
 【提出日】 平成13年 7月16日
 【あて先】 特許庁長官 殿
 【国際特許分類】 G06F 13/355
 【発明の名称】 紹介システム
 【請求項の数】 5
 【発明者】
 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
 株式会社内
 【氏名】 岩川 明則
 【発明者】
 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
 株式会社内
 【氏名】 奥山 敏
 【特許出願人】
 【識別番号】 000005223
 【氏名又は名称】 富士通株式会社
 【代理人】
 【識別番号】 110000040
 【氏名又は名称】 特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ
 【代表者】 池内 寛幸
 【電話番号】 06-6361-9334
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 139757
 【納付金額】 21,000円
 【提出物件の目録】
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1

特2001-215759

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 紹介システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムであって、

前記紹介元システムが、

前記紹介対象システムのユーザエントリ情報を含む紹介情報を前記紹介先システムに通知する紹介部を備え、

前記紹介先システムが、

前記紹介元システムの紹介部から通知された紹介情報を受信し、前記紹介対象システムのユーザエントリ情報をユーザリストに登録する登録部と、

前記登録部における前記紹介対象システムのユーザエントリ情報のユーザリストへの登録を検知し、紹介に基づく登録行為があったことを示す被紹介情報を前記紹介対象システムに通知する被紹介情報通知部を備え、

前記紹介対象システムが、

前記紹介先システムの被紹介情報通知部から被紹介情報を受信し、前記紹介先システムにおけるユーザリストへの登録行為を認知する被紹介認知部を備えたことを特徴とする紹介システム。

【請求項2】 前記紹介対象システムが、サービス提供者であり、

前記紹介対象システムが、前記被紹介認知部により前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係が認知された場合、前記紹介元システムまたは前記紹介先システムのいずれか一方または双方に対して、サービス提供の条件を変更するインセンティブを与えるインセンティブ提供部を備えた請求項1に記載の紹介システム。

【請求項3】 前記紹介先システムの登録部において、前記紹介対象システムのエントリ情報が前記ユーザリストから削除されるか、もしくは紹介先システム自体がその利用者に利用されなくなった場合、前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係の認知または確認を無効とする請求項1または2に記載の

紹介システム。

【請求項4】 ユーザに対応づけて記憶されている参照ユーザをユーザの要求に応じて表示装置上に一覧表示し、一覧表示された複数の参照ユーザの1つを選択して他の参照ユーザの表示領域に仮想移動操作を行なったことを検知することにより、選択した参照ユーザに対して前記他の参照ユーザを紹介する紹介情報を送出するとともに、当該ユーザと選択された参照ユーザと前記他の参照ユーザとを含む紹介関係情報を蓄積することを特徴とする紹介支援方法。

【請求項5】 ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムを構築する処理ステップを備えたプログラムであって、

紹介元システム処理プログラムが、

前記紹介対象システムのユーザエントリ情報を含む紹介情報を前記紹介先システムに通知する紹介処理ステップを備え、

前記紹介先システムの処理プログラムが、

前記紹介元システム処理プログラムの紹介処理ステップより通知された紹介情報を受信し、前記紹介対象システムのユーザエントリ情報をユーザリストに登録する登録処理ステップと、

前記登録処理ステップにおける前記紹介対象システムのユーザエントリ情報のユーザリストへの登録を検知し、当該登録行為があったことを示す被紹介情報を前記紹介対象システムに通知する登録行為通知処理ステップを備え、

前記紹介対象システムの処理プログラムが、

前記紹介先システム処理プログラムの登録行為通知処理ステップより通知された被紹介情報を受信し、当該情報をもとに前記紹介先システムにおけるユーザリストへの登録行為を認知する登録認知処理ステップを備えたことを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において

、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

インターネットの普及に伴い、ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において盛んにコミュニケーションが行われている。コミュニケーションを円滑に行なう工夫として、ユーザリストを用いたシステム、特に、バディリストシステムが世界的に普及してきている。ここで、バディリストシステムとは、相手側システムとのコミュニケーション支援や相手側システムの状態表示などに用いられているものである。

【0003】

相手側システムとのコミュニケーション支援に用いる場合、頻繁にコミュニケーションを行なう相手側システムのエントリ情報をバディリストと呼ばれるリストに事前に登録しておき、コミュニケーションを行なうときに、バディリストの中から相手方のユーザエントリ情報を選択することにより簡単に相手方システムを指定することができる。現在のバディリストシステムは、一般的には、簡単なメッセージを送付するインスタントメッセージの送付サービスなどで用いられており、その通信手段は限定されず、電話、電子メールなど様々なものを用いることができる。

【0004】

相手側システムの状態表示に用いる場合、状態表示を得たい相手側システムのエントリ情報をバディリストに事前に登録しておけば、常時または所定のタイミングで登録相手側システムの状態を示す情報である状態情報がコンピュータ表示画面上の所定の領域に表示される。相手側システムが稼働中であるか、相手側システムにおいてイベントが発生したか否かなどの相手側システムの状態表示や、入退室システムと連動させ、相手側システムの利用者が会議中であるか、外出中であるかなどの状態表示を行なうことが可能である。

【0005】

図23は、利用者AおよびBの間に構築されたバディリストシステムの従来構

成を示す図である。図23において、500は利用者Aが使用しているシステム、501はバディリスト登録部、502はバディリスト記憶部、503は登録情報通知部、504は状態情報受信部、505は状態情報表示部である。また、510は利用者Bが使用しているシステム、511は登録情報受信部、512は状態情報生成部、513は状態情報通知部である。

【0006】

基本的な動作の流れは以下のようになる。まず、利用者Aは、バディリスト登録部501に対して利用者システムBのユーザエントリ情報を指定して入力し、バディリスト登録部501はバディリスト記憶部502中のバディリストにユーザー登録を行なう。登録情報通知部503は、利用者Bの利用者システム510に対して、利用者システム500の識別子情報を含む登録情報を通知する。利用者システム510は登録情報受信部511により登録情報を受信する。ここで、利用者システム510は所定のタイミングまたは自分の状態情報に変化があった場合、利用者システム500に対して、自分の状態を通知する機能を持っている。つまり、状態情報通知部513は、登録情報の中に含まれていた利用者システム500の識別子情報をもとに、状態情報生成部512が生成した状態情報を利用者システム500に対して送信する。利用者Aのシステム500は状態情報受信部504により状態情報を受信し、状態情報表示部505により状態情報を表示する。なお、上記説明では、状態表示に関し、バディリスト上に登録されたシステム側から登録したシステム側へ、いわゆる“プッシュ”技術を用いて状態情報を送信するものであるが、逆に、バディリスト上に登録したシステム側から登録されたシステム側に対して、いわゆる“プル”技術を用いて状態情報を受信するものでも良い。

【0007】

上記のように、バディリストシステムは、各利用者システムに対して割り振られた識別子を用い、バディリストに他の利用者システムを登録したい利用者はこの識別子によって登録相手を指定する。バディリストシステムは一般にDNS (Domain name system) など何らかの既知の手段を用いて、その識別子から実際の利用者システムのネットワーク内の位置を検知して、必要な情報を送受信する機

能を備え、登録した側の利用者システムは登録された側の利用者システムの状態情報が自動的に得られる仕組みとなっている。

【0008】

このようなバディリストシステムは、商業的な活動を行うサービス提供者にとって重要である。つまり、利用者システム内のバディリストに、サービス提供者のユーザエントリ情報を登録してもらえば、サービス提供に関する状態表示を顧客システムにおいて表示することができ、有効なプレゼンテーション手段となる。また、バディリストのコミュニケーション支援機能により、利用者があるサービスを欲したときに自分のサービスを利用してもらえる確率が高くなり、同業他社に対して優位に立つことができるからである。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】

サービス提供者にとり、上記バディリストシステムは販売戦略上、重要な技術と言える。すなわち、利用者システム内のバディリストに自らのユーザエントリ情報を登録してもらえば、自分の宣伝情報などをバディリストを用いた状態表示として提供でき、利用者とのコミュニケーションが活発となり、同業他社に対して優位に立つことができるからである。ここで、如何にして自分自身のユーザエントリ情報を利用者システム内のバディリストに登録してもらうかが問題となる。

【0010】

サービス提供者のユーザエントリ情報を利用者のバディリストに登録してもらうために利用者に対してインセンティブを与える技術として、特願平2000-364371の技術が有効である。これは、利用者自身がバディリストにサービス提供者のユーザエントリ情報を登録し、その旨を通知することによって、通知を受けたサービス提供者が当該利用者に対してサービス提供に関するクーポンを発行するものである。このクーポン発行というインセンティブは、利用者に対して訴求力があるので、バディリストへの当該サービス提供者の登録がある程度期待できる。

【0011】

しかし、特願平2000-364371の技術によれば、利用者自らが能動的にクーポンを発行するサービス提供者を見つけ、サービス提供者のユーザエントリ情報を取得し、バディリストにサービス提供者のユーザエントリ情報を登録し、その旨を通知するという作業が必要となる。これら作業の手間を低減できれば、バディリストへの登録がさらに促進されると期待できる。

【0012】

また、クーポン発行というインセンティブはあるものの、利用者自身は、当該サービス提供者が信頼できる者か、提供されるサービスの品質が如何なるものか分からぬいため、クーポンを発行するサービス提供者なら誰でもバディリストに登録するという訳にはいかない。この心理的不安を低減できれば、バディリストへの登録がさらに促進されるものと期待できる。

【0013】

ここで、一般的な商業活動において、あるサービスの利用者が別の利用者を紹介すると、サービス提供者が、紹介した利用者或いは紹介された利用者に対してペイバックなどの何らかのインセンティブを与えるという商品販売促進方法、サービス利用促進方法が知られている。この方法によれば、紹介された利用者は、紹介する利用者からサービス提供者の信頼性や提供されるサービスの品質を見聞することができるので、紹介する利用者の個人的信用と相俟って、円滑に商品販売、サービス提供が促進される。

【0014】

しかし、この商品販売促進方法、サービス利用促進方法には以下の欠点がある。通常、紹介に伴って与えられるインセンティブは、紹介された利用者が当該サービスを利用する決意を決めた時点か、少なくともサービスの利用予定の確認が行われた時点で発生する。従って、紹介される利用者にとってサービスの利用に対する心理的圧力が高く、紹介される利用者がサービスを欲する度合いが高くなれば利用しにくいという欠点がある。

【0015】

この欠点を緩和するため、紹介時点では、性急に商品販売やサービス提供を行なわず、後日、当該利用者が実際にサービスを利用した時にインセンティブを与

えることも可能である。しかし、この方法では、紹介後、時間が経過するに従って、紹介された利用者は、紹介されたサービスに対する印象が薄れてしまったり、サービス提供者アクセスするためのユーザエントリ情報などを忘れてしまう可能性も高い。利用者の関心を喚起するために勧誘メールなどを定期的に送信することも可能であるが、利用者によってはこのような勧誘メールの送付に対して悪印象を持つ場合もあり、却って逆効果になる場合も有り得るという欠点がある。

【0016】

本発明は、利用者のユーザリストへの登録を支援することを目的とする。特に、バディリストシステムへのサービス提供者の登録における手間を削減し、また、他の利用者からの紹介という形により、サービス提供者に対する信頼性を高め、バディリストシステムへのサービス提供者の登録を促進することを目的とする。

【0017】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の紹介システムは、ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムであって、前記紹介元システムが、前記紹介対象システムのユーザエントリ情報を含む紹介情報を前記紹介先システムに通知する紹介部を備え、前記紹介先システムが、前記紹介元システムの紹介部から通知された紹介情報を受信し、前記紹介対象システムのユーザエントリ情報をユーザリストに登録する登録部と、前記登録部における前記紹介対象システムのユーザエントリ情報のユーザリストへの登録を検知し、紹介に基づく登録行為があったことを示す被紹介情報を前記紹介対象システムに通知する被紹介情報通知部を備え、前記紹介対象システムが、前記紹介先システムの被紹介情報通知部から被紹介情報を受信し、前記紹介先システムにおけるユーザリストへの登録行為を認知する被紹介認知部を備えたことを特徴とする。

【0018】

上記構成により、紹介元システムから紹介先システムに対する紹介行為およびユーザリストへの登録行為があったことを紹介対象システムが認知することがで

きる。

【0019】

なお、前記ユーザリストがバディリストであり、前記紹介先システムのバディリストへの前記紹介対象システムのユーザエントリの登録に基づいて、前記紹介先システムと前記紹介対象システム間でバディリストシステムが構築され、前記紹介対象システムは、自己の状態を表わす状態情報をネットワークを介して通知し、前記紹介先システムは、前記紹介対象システムの状態情報をネットワークを介して取得し、参照することが好ましい。

【0020】

上記構成により、本発明の紹介システムをバディリストシステムに適用することができる。

【0021】

ここで、状態情報とは、相手側システムまたは利用者の状態を示す情報をいい、例えば、アイコンやメッセージで示される情報である。状態情報を参照すれば、相手システムの状態や利用者が外出中であるなどの利用者の状態を把握できる。

【0022】

次に、前記紹介元システムが、前記紹介部が前記紹介対象システムに対して、紹介行為を行なったことを示す紹介情報を通知する機能を備え、前記紹介対象システムが、前記紹介元システムの紹介部から通知された紹介情報を受信し、当該情報をもとに前記紹介元システムにおける紹介行為を認知する紹介認知部と、前記被紹介認知部が認知した内容と、前記紹介認知部が認知した内容とを比較し、前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係を確認する紹介確認部を備えることが好ましい。

【0023】

上記構成により、紹介対象システムが、紹介元システムから紹介行為のいわゆる自己申告を受け、紹介先システムからの登録行為の通知内容と照会することにより紹介行為を確認することができる。

【0024】

次に、インセンティブ提供のため、紹介対象システムが、サービス提供者であり、紹介対象システムが、前記被紹介認知部により前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係が認知された場合、前記紹介元システムまたは前記紹介先システムのいずれか一方または双方に対して、サービス提供の条件を変更するインセンティブを与えるインセンティブ提供部を備えることが好ましい。

【0025】

また、インセンティブ提供のため、紹介対象システムが、サービス提供者であり、紹介対象システムが、前記紹介確認部により前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係が確認された場合、前記紹介元システムまたは前記紹介先システムのいずれか一方または双方に対して、サービス提供の条件を変更するインセンティブを与えるインセンティブ提供部を備えることが好ましい。

【0026】

紹介行為や登録行為が認知、確認された紹介元システムや紹介先システムにインセンティブを提供することができ、紹介対象システムのバディリストへの登録を促進することができる。

【0027】

また、紹介対象システムが、過去の紹介行為および登録行為に基づきインセンティブ提供部が与えているインセンティブの内容、または、将来の紹介行為および登録行為に基づきインセンティブ提供部が提供を予定しているインセンティブの内容を、紹介元システムまたは紹介先システムに対して通知するインセンティブ通知部を備えることも好ましい。

【0028】

現在インセンティブがどの程度与えられているのか、また、さらに、紹介行為、登録行為を行なえばインセンティブがどの程度与えられるのかを把握することができ、紹介行為、登録行為を強く誘引することができるからである。

【0029】

なお、紹介先システムの登録部において、紹介対象システムのエントリ情報がユーザリストから削除された場合や、紹介先システム自体が利用者に利用されなくなった場合は、紹介元システムと紹介先システム間の紹介行為は無効とするこ

とが好ましい。

【0030】

紹介関係が解消したとみなすことができるからである。

【0031】

【発明の実施の形態】

本発明の紹介システムの実施形態について説明する。なお、以下の本発明の紹介システムの実施形態の説明では、ユーザリストをバディリストとし、紹介先システムと紹介対象システム間でバディリストシステムが構築される例を説明する。

【0032】

(実施形態1)

本発明の実施形態1の紹介システムは、ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムであり、紹介元システムが紹介対象システムを紹介先システムに紹介するものである。紹介は紹介対象システムが提供するサービスの単位で行なっても良い。紹介は紹介先システムが備えるユーザリストに登録する形で行われる。例えば、紹介対象システムのサービスに対して識別子が割り当てられており、紹介元システムが紹介対象システムの識別子情報を含むユーザエントリ情報を通知し、紹介先システムにおいてユーザリストのユーザとしてこのユーザエントリ情報が登録される。

【0033】

また、以下の実施形態で説明するバディリストシステムは、紹介先システムのバディリストへの新たなユーザエントリの追加により、紹介先システムが紹介対象システムへ自らの識別子情報を含む登録情報を送信するものとし、また、紹介対象システムの状態情報の紹介先システムへの送信は、紹介対象システムから紹介先システムへの“プッシュ”として行われる形態を取り上げて説明する。ここで、紹介先システムのバディリストへの新たなユーザエントリの追加により、紹介先システムが紹介対象システムへ自らの識別子情報を送信せず、また、紹介対象システムの状態情報の紹介先システムへの送信は、紹介先システムから紹介

象システムへの“プル”として行われる形態であっても、本発明の紹介システムは適用可能である。

【0034】

図1は、本発明の実施形態1の紹介システムの概略構成を示す図である。

【0035】

100が紹介元システム、200が紹介先システム、300が紹介対象システムである。ここでは、それぞれに識別子が割り振られているものとし、紹介元システム100の識別子が“A”、紹介先システム200の識別子が“B”、紹介対象システム300の識別子が“C”とする。

【0036】

紹介元システム100は、バディリスト管理部110と紹介部120を備えている。

【0037】

バディリスト管理部110は、紹介元システム100のバディリストを記憶し、管理している部分である。なお、図示は省略したが、紹介元システム100もバディリストを用いた状態情報の表示などを行なうため、後述する紹介先システム200のバディリスト管理部210と同様の構成であっても良い。

【0038】

紹介部120は、紹介情報生成部121、紹介情報通知部122を備えている。紹介情報生成部121は、紹介元システム100の利用者Aによる操作において、バディリスト上のあるユーザ（紹介対象システム300）を他のユーザ（紹介先システム200）に紹介する操作指示を検出すれば、バディリスト管理部110から該当する紹介対象となったユーザエントリ情報を取り出して紹介情報を生成する。生成される紹介情報は、例えば図2に示すようなものであり、この例では、項目として、紹介元システムの識別子情報、紹介先システムの識別子情報、紹介対象システムの識別子情報、その他情報を含んでいる。この例では各項目値として、“A”、“B”、“C”、“紹介日時”が与えられている。

【0039】

紹介部120は、生成した紹介情報を、紹介情報通知部122を介して、紹介

先システム200に対して通知する。

【0040】

紹介先システム200は、バディリスト管理部210、被紹介情報通知部220を備えている。

【0041】

バディリスト管理部210は、バディリスト登録部211、バディリスト記憶部212を備え、紹介先システム200のバディリストを記憶し、管理している。また、バディリスト管理部210は、登録情報通知部213を備え、バディリストへの新たなユーザエントリ情報の追加があると、相手側システムである紹介対象システム300に対して自らの識別子情報を含む登録情報を送信する。また、状態情報受信部214および状態情報表示部215を備え、後述するように、紹介対象システム300から状態情報が通知されると当該情報に基づいて紹介対象システム300の状態表示を行なう。

【0042】

また、バディリスト管理部210は、バディリストに登録されたシステムへの通信支援機能を備えるものでも良い。紹介先システム200の利用者が紹介対象システム300に対して通信したい場合、バディリスト上に表示された紹介対象システム300のユーザエントリを選択することで紹介対象システム300への通信パス形成を支援する。

【0043】

バディリスト登録部211は、紹介元システム100の紹介部120から通知された紹介情報を受信する。図1には図示していないが、バディリスト登録部211は登録選択機能を備えることが好ましい。紹介されたユーザエントリをバディリストに登録するか否かを選択する余地を残すためである。登録選択機能は、利用者Bに紹介されたユーザを登録するか否かを尋ねる選択ダイアログを提示する機能とその選択を受け付ける機能を有する。利用者Bが登録を選択した場合、受信した紹介情報から紹介対象システムのユーザエントリ情報を取り出し、バディリスト記憶部212のバディリストに登録する。この結果、紹介先システムのバディリストに紹介対象システム300がユーザとして登録される。バディリス

ト登録部211は、紹介対象システム300のユーザエントリ情報のバディリストへの登録が完了すると、その旨を被紹介情報通知部220に対して通知する。

【0044】

被紹介情報通知部220は、バディリスト登録部211から紹介対象システム300のユーザエントリ情報のバディリストへの登録完了の通知を受けると、被紹介情報を生成する。被紹介情報は、例えば図3に示すようなものであり、この例では、項目として、紹介元システムの識別子情報、紹介先システムの識別子情報、紹介対象システムの識別子情報、その他情報の4つがあり、それぞれの項目値は、“A”、“B”、“C”、“紹介日時”となっている。なお、この例は、図2に示した紹介情報と項目が同じものであるが、必ずしも同じである必要はない。被紹介情報通知部220は、生成した被紹介情報を、紹介対象システム300に対して通知する。

【0045】

紹介対象システム300は、バディリスト制御部310と被紹介認知部320を備えている。

【0046】

バディリスト制御部310は、登録情報受信部311を備え、紹介先システム200から通知された登録情報を受信し、紹介先システム200の識別子情報“B”を取り出す。また、バディリスト制御部310は状態情報生成部312と状態情報通知部313を含んでいる。状態情報生成部312により状態情報を生成し、状態情報通知部313は紹介先システム200の識別子“B”に基づいて紹介先システム200に対して状態情報を送信する。

【0047】

被紹介認知部320は、紹介先システム200の被紹介情報通知部220から通知された被紹介情報を受信し、当該受信した被紹介情報から被紹介認知情報を生成する。生成される被紹介認知情報は、例えば、図4に示すようなものであり、この例では、項目として、紹介元システムの識別子情報、紹介先システムの識別子情報、その他情報の3つがあり、それぞれの項目値は、“A”、“B”、“紹介日時”となっている。

【0048】

被紹介認知部320は、生成した被紹介認知情報を記憶する。

【0049】

このように、紹介対象システム300は、紹介元システム100が紹介先システム200に対して紹介対象システム300を紹介し、紹介先システム200のバディリストに自らがユーザ登録されたことを認知することができる。

【0050】

なお、図1に示した構成では各端末がお互いに直接接続されているが、実運用上では、識別子情報をもとに通信相手となるシステムのネットワーク上のアドレスを取得して送信する。本実施形態1では、情報交換サーバを経由して通信が行われるものとする。

【0051】

交換サーバ400の構成例を図5に示す。交換サーバ400は、各利用者システムの識別子と、そのネットワーク上の位置（例えばIPアドレスとポート番号）を管理している。通信される情報の特定部分（たとえば先頭20バイトのヘッダ部分）に宛先となる利用者システムの識別子を記入して交換サーバ400に送信すると、その宛先情報として登録されたIPアドレスおよびポート番号に対して情報内容が転送されるようになっている。なお、交換サーバ400自体のネットワーク上の位置は、例えばDNSによる名前で管理され、各利用者システムからは一意に決定されるものとする。

【0052】

以上のように交換サーバ400を用いれば、各利用者システム間で情報を転送する仕組みは実現される。以後の説明では情報転送に関する説明は割愛する。

【0053】

次に、上記した本発明の実施形態1の紹介システムの処理の流れを具体例を挙げつつ詳しく説明する。

【0054】

紹介システムの処理の流れは図6～図8のフローチャートに従う。

【0055】

(1) 紹介元システム100における紹介処理(図6)

紹介元システム100の利用者Aが紹介操作を入力する(ステップS601)

。例えば、図1には図示していないがバディリスト管理部110はバディリスト表示機能を備え、バディリストが図9のような表示画面で表示される。この例では、バディリストにはユーザとして「岩川」、「佐野」、「スーパーα」が登録されている。以下の説明では、紹介元システム100の利用者である「奥山」が、バディリスト上のユーザ「スーパーα」をユーザ「岩川」に紹介する例を説明する。つまり、紹介元システム100の利用者が「奥山」、紹介先システム200の利用者が「岩川」、紹介対象システム300の利用主体が「スーパーα」の例である。

【0056】

この例では、利用者は紹介部120に対してバディリスト上のユーザインタフェースを用いて紹介操作を行なうことができるものとする。例えば、図9に示したバディリスト表示画面を用い、図10のように操作する。つまり、紹介元システム100の利用者「奥山」は、バディリスト上の「スーパーα」のアイコンをマウスによりドラッグし、バディリスト上の「岩川」のアイコン上へドロップすることによって行われる。このようなユーザインタフェースを提供することにより、紹介操作が簡単となり、紹介行為が促進される効果が期待できる。

【0057】

次に、紹介操作をもとに、紹介情報生成部121により紹介情報が生成される(ステップS602)。紹介元システム100の紹介部120は、バディリストに対する操作を常にモニタしており、上述のような紹介操作の入力が行われると、紹介部120は当該操作を検出し、図2に示した紹介情報を生成する。

【0058】

紹介元システム100の識別子情報として、すなわちユーザ「奥山」の識別子情報として“A”が設定され、紹介先システム200の識別子情報として、すなわちユーザ「岩川」の識別子情報として“B”が設定され、紹介対象システム300の識別子情報として、すなわちユーザ「スーパーα」の識別子情報として“C”が設定されている。

【0059】

次に、紹介情報通知部122を介して、紹介元システム100である「奥山」の利用者システムである紹介元システム100から「岩川」の利用者システムである紹介先システム200へ紹介情報が通知される（ステップS603）。

【0060】

この紹介元システム100における紹介情報の通知処理（ステップS603）の後、紹介先システム200における登録処理が開始される。

【0061】

（2）紹介先システム200における登録処理（図7）

紹介元システム100の紹介情報の通知処理（ステップS603）を受け、紹介先システム200は登録処理を開始する。

【0062】

「岩川」の利用者システムである紹介先システム200のバディリスト管理部210は、紹介元システム100から通知された紹介情報を受信し、バディリスト登録部211に渡す（ステップS701）。

【0063】

次に、「岩川」の紹介先システム200は、バディリスト登録部211により、図11に示すように、ユーザ「奥山」からユーザ「スーパーα」の紹介を受けたという事実と、ユーザ「スーパーα」を自らのバディリストに登録するか否かを選択させる選択ダイアログを表示する（ステップS702）。

【0064】

紹介先システム200の利用者「岩川」が「登録する」を選択すると（ステップS703：Y）、バディリスト登録部211は紹介対象システム300である「スーパーα」をバディリスト記憶部212内のバディリストに登録する（ステップS704）。

【0065】

バディリストに紹介対象システムであるユーザ「スーパーα」が登録された場合、紹介先システム200は、登録情報通知部213により、紹介対象システム300である「スーパーα」に対して自らの識別子“B”を含む登録情報を送信

する（ステップS705）。この登録情報は、紹介対象システム300において、登録情報受信311により受信される。

【0066】

被紹介情報通知部220は、図3に示したような被紹介情報を生成し、システム紹介対象システム300である「スーパーα」に対して、当該被紹介情報を通知する（ステップS706）。

【0067】

この紹介先システム200における被紹介情報の通知処理（ステップS706）の後、紹介対象システム300における登録認知処理が開始される。ここで、ステップS705とステップS706の順序は便宜上、上記の順序としたが、両者が入れ替わっても良く、また、同時並行処理されても良い。

【0068】

なお、上記ステップS703の登録選択処理において、紹介先システム200の利用者「岩川」が「登録しない」を選択すると（ステップS703：N）、ステップS704～S706の動作は行わずに紹介先システム200における登録処理を終了し、また、紹介対象システム300における登録認知処理は開始されずに紹介システムの処理が終了する。

【0069】

（3）紹介対象システム300における登録処理（図8）

紹介先システム200の被紹介情報の通知処理（ステップS706）を受け、紹介対象システム300である「スーパーα」の利用者システムは、以下の登録処理を開始する。

【0070】

紹介対象システム300のバディリスト制御部310は、登録情報受信部311を介して、紹介先システム200の登録情報通知部213から通知された登録情報を受信し（ステップS801）、当該登録情報から紹介先システム200の識別子“B”を取り出し、紹介先システム200を状態情報を通知するシステムとして登録する（ステップS802）。

【0071】

また、被紹介認知部320は、紹介先システム200の被紹介情報通知部220から通知された被紹介情報を受信し（ステップS803）、図4に示したように、受信した被紹介情報に含まれる紹介元システム100の識別子情報と紹介先システム200の識別子情報を対応づけたテーブルの形式で被紹介認知情報を生成し、生成した被紹介認知情報を記憶する（ステップS804）。

【0072】

上記の登録処理（ステップS801～S804）の後、紹介対象システム300のバディリスト制御部310は、登録されている紹介先システム200の識別子に基づき、状態情報通知部313を介して状態情報生成部312により生成された状態情報を紹介先システム200に対して所定のタイミングで状態情報を通知する（S805）。

【0073】

（4）紹介先システム200における紹介対象システム300の状態表示処理
、紹介先システム200から紹介対象システム300への通信支援処理

紹介対象システム300から状態情報が通知されると、紹介先システム200の状態情報表示部215は、当該状態情報に基づいて紹介対象システム300の状態表示を行なう。

【0074】

以上が実施形態1の紹介システムの、紹介処理、被紹介認知情報を中心とした処理の流れである。

【0075】

なお、状態情報の通知を受け、状態情報を表示した紹介先システム200において、利用者が紹介対象システム300に対して通信したい場合、バディリスト上に表示された紹介対象システム300のユーザエントリを選択することで、紹介対象システム300への通信パス形成の支援を受けることができるが好ましい。

【0076】

以上、一連の動作により、紹介対象システム300の利用者である「スーパー α 」は、被紹介認知情報を参照することにより、紹介元システム100の利用者

である「奥山」が、紹介先システム200の利用者である「岩川」に対して、「スーパーα」を紹介し、「岩川」の利用者システムのバディリストシステムに、「スーパーα」のユーザエントリ情報が登録されたことを認知することができる。

【0077】

(実施形態2)

本発明の実施形態2の紹介システムは、実施形態1の紹介システムを改良したものであり、紹介行為が行なわれたことを確認する機能を付加したものである。紹介者が誰で被紹介者が誰であることという紹介関係の確認方法としては様々な形態が考えられるが、ここではもっとも簡単な例として、紹介元システムから得られた紹介元システム及び紹介先システムの関係を示す紹介情報と、紹介先システムから得られた紹介元システム及び紹介先システムの関係を示す被紹介情報を比較し、両者の対応が正しいかどうかを検証する形で紹介関係の確認をするものとする。

【0078】

本発明の実施形態2の紹介システムは、実施形態1と同様の、紹介元システムによる紹介処理、紹介先システムによる登録処理、紹介対象システムによる登録処理および被紹介認知処理に加え、紹介元システムにおける紹介対象システムへの紹介情報通知処理と、紹介対象システムにおける紹介認知処理および確認処理を行なう。実施形態1と同様、紹介は紹介対象システムが提供するサービスの単位で行なっても良い。

【0079】

図12は、本発明の実施形態2の紹介システムの概略構成を示す図である。

【0080】

100aが紹介元システム、200aが紹介先システム、300aが紹介対象システムである。それぞれの識別子は実施形態1と同様、紹介元システム100の識別子が“A”、紹介先システム200の識別子が“B”、紹介対象システム300の識別子が“C”とする。

【0081】

紹介元システム100aは、図1の紹介元システム100の構成と同様であるが、本実施形態2では、紹介情報通知部122は、紹介情報を紹介先システム200aのバディリスト管理部210に対して通知するとともに、紹介対象システム300aの紹介認知部330に対しても通知する機能を備えている。ここで紹介情報は、例えば、実施形態1で示した図2に示すものと同様のもので良い。

【0082】

次に、紹介先システム200aの構成は、実施形態1で説明した図1の紹介先システム200の構成と同様で良い。

【0083】

紹介対象システム300aは、実施形態1の紹介対象システム300の構成に比べ、さらに、紹介認知部330と、紹介確認部340を備えている。

【0084】

紹介認知部330は、紹介元システム100aの紹介情報通知部122から通知された紹介情報を受信し、当該紹介情報をもとに紹介元システム100aにおける紹介行為を認知する部分である。

【0085】

紹介認知部330は、紹介元システム100aの紹介情報通知部122から通知された紹介情報を受信し、この受信した紹介情報から紹介認知情報を生成する。生成される紹介認知情報は、例えば、図13に示すようなものであり、この例では、項目として、紹介元システムの識別子情報、紹介先システムの識別子情報、その他情報（ここでは紹介日時）の3つがあり、それぞれの項目値は、“A”、“B”、“2001.07.03”となっている。紹介認知部330は、生成した紹介認知情報を記憶する。

【0086】

紹介確認部340は、被紹介認知部320が認知した被紹介認知情報が示す紹介先システム200aにおける登録行為の内容と、紹介認知部330が認知した紹介認知情報が示す紹介元システム100aにおける紹介行為の内容とを比較し、両者の一致を確認する部分である。つまり、両者が一致した場合に紹介元システム100aと紹介先システム200a間の紹介行為および紹介を受け入れて行

なったバディリストへの登録行為を確認するものである。紹介確認部340は、紹介確認結果を記憶する。

【0087】

実施形態2の紹介システムの処理の流れは、図14～図15のフローチャートに従う。なお、この例でも、紹介元システム100aの利用者は「奥山」、紹介先システム200aの利用者は「岩川」、紹介対象システム300aの利用主体は「スーパーα」とし、紹介元システム100の利用者である「奥山」が、バディリスト上のユーザ「スーパーα」をユーザ「岩川」に紹介する場合について説明する。

【0088】

(1) 紹介元システム100aによる紹介処理(図14)

ステップS1401からステップS1403までの各処理ステップは、図6のフローチャートに示した、紹介元システム100aの利用者「奥山」による紹介操作の入力処理(ステップS601)、紹介情報の生成処理(ステップS602)、紹介先システム200aへ紹介情報の通知処理(ステップS603)は実施形態1と同様であり、ここで詳しい説明は省略する。

【0089】

この紹介元システム100aにおける紹介情報の通知処理(ステップS1403)の後、当該紹介情報の通知を受けたことを契機として、紹介先システム200aにおいて登録処理が開始される。

【0090】

実施形態2の紹介システムでは、紹介元システム100aにおいて、紹介先システム200aへの紹介情報の通知処理(ステップS1403)に続いて、紹介対象システム300aに対する紹介情報の通知処理を行なう。つまり、紹介情報通知部122は、紹介対象システム300aに対して当該紹介情報を通知する(ステップS1404)。

【0091】

この紹介元システム100aにおける紹介情報の通知を受けたことを契機として、紹介対象システム300aにおいて紹介認知処理が開始される。

【0092】

なお、上記例では、紹介対象システム300aへの紹介情報の通知処理（ステップS1404）のステップは、紹介操作の入力処理（ステップS1401）、紹介情報の生成処理（ステップS1402）、紹介先システム200aへの紹介情報の通知処理（ステップS1403）の後としたが、紹介先システム200aへの紹介情報の通知処理（ステップS1403）と並行に実行されても良い。

【0093】

(2) 紹介先システム200aにおける登録処理

紹介元システム100aの紹介情報の通知処理（ステップS1403）を受け、紹介先システム200aは登録処理を開始する。

【0094】

この登録処理は、実施形態1の紹介先システム200における登録処理（図7）と同様であり、ここでの説明は省略する。

【0095】

(3) 紹介対象システム300aにおける登録処理および被紹介認知処理、紹介認知処理、紹介確認処理（図15）

紹介対象システム300aは、紹介先システム200aから登録情報の通知（ステップS705）および被紹介情報の通知（ステップS706）を受け、登録処理および被紹介認知処理を開始する。

【0096】

また、紹介対象システム300aは、紹介元システム100aの紹介情報の通知（ステップS1404）を受け、紹介認知処理を開始する。

【0097】

さらに、登録認知処理および紹介認知処理の結果を受け、紹介確認処理を開始する。

【0098】

まず、登録認知処理は、実施形態1の紹介対象システム300における登録認知処理（図8）と同様であるので、ここでの詳しい説明は省略する。図15の紹介先システム200aの登録情報の受信処理（ステップS1501）、状態情報

通知先システムの登録処理（ステップS1502）、被紹介情報の受信処理（ステップS1503）、被紹介認知情報の生成・記憶処理（ステップS1504）は、それぞれ、図8のステップS801～ステップS804に相当する。この登録認知情処理の結果として、被紹介認知情部320は、図4に示した被紹介認知情報を記憶する。

【0099】

次に、紹介認知情処理は、以下の流れで行われる。

【0100】

まず、紹介対象システム300aの紹介認知情部330は、紹介先システム200aの紹介情報通知部122から紹介情報を受信する（ステップS1505）。

【0101】

紹介認知情部330は、受信した紹介情報を含まれる紹介元システム100aの識別子情報と紹介先システム200aの識別子情報を対応づけたテーブルの形式で図13に示したような紹介認知情情報を生成・記憶する（ステップS1506）。

【0102】

次に、紹介確認処理は、以下の流れで行われる。

【0103】

まず、紹介確認部340は、ステップS1503～ステップS1504の被紹介認知情処理の結果として得られた被紹介認知情報と、ステップS1505～ステップS1506の紹介認知情処理の結果として得られた紹介認知情報を受け、被紹介認知情報の内容と紹介認知情報の内容を比較する（ステップS1508）。

【0104】

両者が一致した場合、紹介確認処理が成功し、紹介確認部340は、紹介元システム100aと紹介先システム200aの紹介関係を確認することができる。

【0105】

両者が一致しない場合、紹介確認処理が失敗し、紹介確認部340は紹介元システム100aと紹介先システム200aの紹介関係を確認することができない。

【0106】

紹介確認部340は、得られた紹介確認結果を記憶する（ステップS1509）。

【0107】

上記処理（ステップS1501～S1509）の後、紹介対象システム300aのバディリスト制御部310は、登録されている紹介先システム200aの識別子に基づき、状態情報通知部313を介して状態情報生成部312により生成された状態情報を紹介先システム200aに対して所定のタイミングで状態情報を通知する（S1510）。

【0108】

なお、紹介先システム200aにおける紹介対象システム300aの状態表示処理、紹介先システム200aから紹介対象システム300aへの通信支援処理は、実施形態1と同様であるので、ここでの説明は省略する。

【0109】

以上が実施形態2の紹介システムの、紹介処理、被紹介認知処理、紹介認知処理、紹介確認処理を中心とした処理の流れである。

【0110】

なお、紹介確認部340における紹介確認結果を利用者に提示することも可能である。例えば、紹介対象システムの利用主体である「スーパーα」の店主は、端末のユーザインターフェース上で、紹介関係確認したい紹介元の利用者「奥山」の識別子情報と紹介先の利用者「岩川」の識別子情報を、例えば、文字列で入力するなどして指定する。紹介確認部340がユーザインターフェースからの通知を受け、紹介確認結果を検索し、利用者「奥山」の紹介先として利用者「岩川」の登録が確認されているかどうかを調べる。確認されていない場合は紹介関係の確認に失敗した旨表示する。確認されている場合は、紹介関係の確認に成功した旨を表示する。

【0111】

（実施形態3）

本発明の実施形態3の紹介システムは、紹介対象システムの利用主体が何らか

のサービス、商品を提供するサービス提供者であって、紹介元システムの利用者および紹介先システムの利用者が、そのサービス提供者の顧客である場合を想定している。サービス提供者のユーザエントリ情報を利用者のバディリストに登録してもらうために利用者に対してインセンティブを与え、紹介関係構築を推進する技術である。

【0112】

図16は、本発明の実施形態3の紹介システムの概略構成を示す図である。

【0113】

図16は、実施形態1に示した図1の構成に対してインセンティブ提供部350を加えた構成となっている。100bが紹介元システム、200bが紹介先システム、300bが紹介対象システムである。紹介対象システム300bは、図1の紹介対象システム300の構成に比べ、さらに、インセンティブ提供部350を備えている。

【0114】

インセンティブ提供部350は、紹介認知部330により紹介元システム100bと紹介先システム200b間の紹介行為および登録行為が認知された場合、紹介元システム100bまたは紹介先システム200bのいずれか一方または双方に対して、サービス利用料金を低減するなどのインセンティブを決定して与える部分である。

【0115】

図17は、本発明の実施形態3の紹介システムの他の概略構成を示す図である。実施形態2に示した図12の構成に対してインセンティブ提供部350を加えた構成となっている。100cが紹介元システム、200cが紹介先システム、300cが紹介対象システムである。

【0116】

インセンティブ提供部350は、紹介行為確認部340により紹介元システム100cと紹介先システム200c間の紹介行為および紹介を受け入れた登録行為が確認された場合、紹介元システム100cまたは紹介先システム200cのいずれか一方または双方に対して、サービス利用料金を低減するなどのインセ

ンティブを決定して与える。

【0117】

例えば、インセンティブとして、紹介したユーザ（紹介元システム100bまたは100cの利用者）に対して全ての商品の値段を5%割り引いたり、紹介されたユーザ（紹介先システム200bまたは200cの利用者）に対して全ての商品の値段を5%割り引いたりすることが想定される。このような、インセンティブを与えることにより、サービス利用者に対し、新規利用者の紹介を促進することができる。

【0118】

次に、本発明の紹介システムは、紹介元システムや紹介先システムに対し、過去の紹介行為および登録行為に基づき与えられているインセンティブの内容、または、将来の紹介行為および登録行為に基づき提供を予定しているインセンティブの内容を提示する構成とすることもできる。

【0119】

図18は、インセンティブの内容を提示する場合の構成を示す図である。紹介対象システム300dが、インセンティブ情報通知部360を備えた構成となっている。

【0120】

インセンティブ情報通知部360は、過去の紹介行為および登録行為に基づき与えられているインセンティブの内容、または、将来の紹介行為および登録行為に基づき提供を予定しているインセンティブの内容に関する表示情報を生成し、状態情報通知部313に渡す。

【0121】

状態情報通知部313は、状態情報の一つとして、インセンティブの内容に関する表示情報を紹介先システム200dに通知する。紹介先システム200dにおいて、状態情報表示部215を介して紹介対象システム300の状態表示の一つとしてインセンティブの内容に関する情報が表示される。このように、インセンティブ情報は、バディリストシステムの状態表示として紹介先システムに通知される。例えば、「今、あなたには全ての商品の値段を5%割り引きます」など

の表示がされたり、「さらに、新しいお客様を紹介頂ければ、全ての商品の値段を7%割り引きます」などの表示がされる。

【0122】

紹介元システム100dに対するインセンティブ情報の表示も同様の仕組みで行なえば良い。

【0123】

なお、インセンティブ情報の送信は、利用者がサービスのプレゼンス情報を参照した時点や、サービスの提供者がインセンティブ情報を変更した時点で行なえば良い。前者の場合、参考しようとしている利用者の識別子情報を取得し、その利用者に対応するインセンティブ情報を取得し、これを文字列などに変換してプレゼンス情報として利用者のバディリスト画面に表示させる。

【0124】

(実施形態4)

実施形態4の紹介システムは、紹介元システムと紹介先システムの紹介関係が解消した場合、紹介元システムと紹介先システム間の紹介行為および登録行為の認知または確認を無効とし、インセンティブを無効とするものである。ここで、紹介元システムと紹介先システムの紹介関係が解消した場合とは、紹介先システムにおいて、紹介対象システムのエントリ情報がバディリストから削除された場合や、端末自体の廃棄など、紹介先システム自体が利用されなくなった場合を言う。なお、紹介元システムにおいてこれらの状態が発生した場合や、両者の状態を組合せた場合も本実施例と同様な実施例で実現できることを指摘しておく。

【0125】

図19は、本発明の実施形態4の紹介システムの概略構成を示す図である。

【0126】

紹介元システム100eは、紹介部120eが紹介更新情報通知部123を備え、所定の更新タイミングにおいて、紹介元システム100eの紹介行為が有効である旨を示す紹介更新情報を生成し、紹介対象システム300eに通知する。

【0127】

紹介先システム200eは、被紹介情報通知部220eが被紹介更新情報通知

部221を備え、所定の更新タイミングにおいて、紹介を受けた紹介先システム200eの登録行為が有効である旨、つまり、バディリストに紹介対象システム300eのユーザエントリ情報が登録され、状態表示などが行なわれている旨を示す被紹介更新情報を生成し、紹介対象システム300eに通知する。

【0128】

紹介対象システム300eは、被紹介認知部320eが被紹介更新認知部321を備え、紹介認知部330eが紹介更新認知部331を備えている。被紹介更新認知部321は、紹介先システム200eの被紹介更新情報通知部221から通知された被紹介更新情報を認知し、紹介更新認知部331は、紹介元システム100eの紹介更新情報通知部123から通知された紹介更新情報を認知する。紹介確認部340eは、両者の紹介関係が有効であることを確認する。

【0129】

紹介確認部340eは、紹介更新パラメタと、被紹介更新パラメタを持っている。紹介確認部340eは、紹介元システム100eから紹介更新情報の通知を受けた場合、紹介更新パラメタを更新する。同様に、紹介確認部340eは、紹介先システム200eから被紹介更新情報の通知を受けた場合、被紹介更新パラメタを更新する。

【0130】

図20は、紹介確認部340eによる紹介更新情報と被紹介更新情報に基づく紹介関係の更新処理の一例を示している。なお、以下の例では、紹介更新パラメタおよび被紹介更新パラメタは、“2”の値を基本とし、更新処理によりその値が“2”に更新され、後述する更新確認処理の度にその値が“1”ずつ減じられて行くものとする。この構成であれば、更新確認処理が2度続けて行われるまでに紹介更新パラメタおよび被紹介更新パラメタが更新されなければその値が“0”になることとなる。

【0131】

まず、紹介確認部340eが、紹介更新情報または被紹介更新情報を受信する（ステップS2001）。

【0132】

紹介確認部340eは、紹介更新パラメタまたは被紹介更新パラメタの値を調べる。この例では値が“2”であるか否かを調べ（ステップS2002）、値が“2”であれば（ステップS2002：Y）、既に更新が終了していると判断し、更新処理を終了する。

【0133】

紹介更新パラメタまたは被紹介更新パラメタの値が“2”でなければ（ステップS2002：N）、その値が“1”であるか否かを調べ（ステップS2003）、値が“1”であれば（ステップS2003：Y）、値を“2”に更新する（ステップS2004）。値を更新後、更新処理を終了する。

【0134】

紹介更新パラメタまたは被紹介更新パラメタの値が“1”でなければ（ステップS2003：N）、更新処理を終了する。

【0135】

図21の紹介関係の更新確認処理は以下の手順で行なわれる。

【0136】

紹介確認部340eは、所定のタイミング（例えば、一日一回午前0時）になれば（ステップS2101：Y）、紹介更新パラメタと被紹介更新パラメタの値を調べる。紹介更新パラメタまたは被紹介更新パラメタの値が“2”であった場合（ステップS2102：Y）、紹介関係の確認が成功したこととし、そのパラメタ値を“1”減ずる（ステップS2103）。紹介更新パラメタまたは被紹介更新パラメタの値が“2”でなく（ステップS2102：N），“1”であった場合（ステップS2104：Y）、紹介関係の確認が成功したこととし、そのパラメタ値を“1”減ずる（ステップS2105）。紹介更新パラメタまたは被紹介更新パラメタの値が“1”でない場合（ステップS2104：N）、つまり“0”であった場合、紹介関係の更新確認が失敗したこととし（ステップS2106）、紹介関係の更新確認を行なわない。

【0137】

この紹介関係の確認が失敗した場合は、紹介元システム100eや紹介先システム200eから紹介更新情報の通知や被紹介更新情報を受けられずに、紹介

更新パラメタや被紹介更新パラメタが“2”に更新されないまま、所定タイミングで一度目の更新確認が行われて値が一つ減じられ、さらに2度目の更新確認が行われた場合である。

【0138】

上記のように、紹介更新パラメタや被紹介更新パラメタを更新する場合に“2”の値に更新し、更新確認が2度失敗した時に紹介関係が有効でないと扱うことは、紹介更新情報や被紹介更新情報が通知されるタイミングと更新確認が実行されるタイミングが非同期である事情や、システム実運用上に考慮すべきマージンを設けたものであって、必ずしも“2”にする必要はなく、マージンを考慮せず“1”としたり、マージンを多くとり“3”やそれ以上の値としても良いことは言うまでもない。また、更新確認のタイミングを所定のタイミング（一日一回午前0時）としたが、インセンティブ情報の内容を更新する段階で紹介関係の更新確認処理を行う構成でも良い。

【0139】

また、紹介対象システム300eは、一定期間ごとにインセンティブ情報の初期化作業を行い、インセンティブの提供を受けることができるを一定期間に制限することも可能である。実施形態3で述べたインセンティブ提供部350を用いる場合、インセンティブ提供部350は、所定のタイミングにおいて、紹介確認部340eにより紹介関係の更新通知を受けた場合、インセンティブの提供を継続し、紹介関係の更新通知を受けない場合、インセンティブの提供を中止する。

【0140】

なお、上記説明は、紹介先システムの端末が存在する場合を中心に説明したが、紹介先システムの端末自体が廃棄された場合は、必要な被紹介更新情報が紹介先システムから送出されないので、紹介確認部において更新確認が得られないことは言うまでもない。

【0141】

(実施形態5)

本発明の紹介システムは、上記に説明した構成を実現する処理ステップを記述したプログラムを提供し、コンピュータにインストールすることにより構築する

ことができる。本発明の紹介システムを実現する処理ステップを備えたプログラムは、図22に図示した記録媒体の例に示すように、CD-ROM1002やフレキシブルディスク1003等の可搬型記録媒体1001だけでなく、ネットワーク上にある記録装置内の記録媒体1000や、コンピュータのハードディスクやRAM等の記録媒体1005などに記録して提供することができ、さらには、ネットワークを通じてダウンロードすることも可能である。当該プログラムは、実行時にはコンピュータ1004上にローディングされ、実行される。

【0142】

さらに、本発明の紹介システムおよび紹介方法に関し、以下の項を開示する。

【0143】

(付記1) ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムであって、

前記紹介元システムが、

前記紹介対象システムのユーザエントリ情報を含む紹介情報を前記紹介先システムに通知する紹介部を備え、

前記紹介先システムが、

前記紹介元システムの紹介部から通知された紹介情報を受信し、前記紹介対象システムのユーザエントリ情報をユーザリストに登録する登録部と、

前記登録部における前記紹介対象システムのユーザエントリ情報のユーザリストへの登録を検知し、紹介に基づく登録行為があったことを示す被紹介情報を前記紹介対象システムに通知する被紹介情報通知部を備え、

前記紹介対象システムが、

前記紹介先システムの被紹介情報通知部から被紹介情報を受信し、前記紹介先システムにおけるユーザリストへの登録行為を認知する被紹介認知部を備えたことを特徴とする紹介システム。

【0144】

(付記2) 前記ユーザリストがバディリストであり、

前記紹介先システムのバディリストへの前記紹介対象システムのユーザエント

リの登録に基づいて、前記紹介先システムと前記紹介対象システム間でバディリストシステムが構築され、

前記紹介対象システムは、自己の状態を表わす状態情報をネットワークを介して通知し、

前記紹介先システムは、前記紹介対象システムの状態情報をネットワークを介して取得し、参考する付記1に記載の紹介システム。

【0145】

(付記3) 前記紹介元システムが、

前記紹介部が前記紹介対象システムに対して、紹介行為を行なったことを示す紹介情報を通知する機能を備え、

前記紹介対象システムが、

前記紹介元システムの紹介部から通知された紹介情報を受信し、当該情報をもとに前記紹介元システムにおける紹介行為を認知する紹介認知部と、

前記被紹介認知部が認知した内容と、前記紹介認知部が認知した内容とを比較し、前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係を確認する紹介確認部を備えた付記1または2に記載の紹介システム。

【0146】

(付記4) 前記紹介対象システムが、サービス提供者であり、

前記紹介対象システムが、前記被紹介認知部により前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係が認知された場合、前記紹介元システムまたは前記紹介先システムのいずれか一方または双方に対して、サービス提供の条件を変更するインセンティブを与えるインセンティブ提供部を備えた付記1～3のいずれかに記載の紹介システム。

【0147】

(付記5) 前記紹介対象システムが、サービス提供者であり、

前記紹介対象システムが、前記紹介確認部により前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係が確認された場合、前記紹介元システムまたは前記紹介先システムのいずれか一方または双方に対して、サービス提供の条件を変更するインセンティブを与えるインセンティブ提供部を備えた付記3に記載の紹介シ

ステム。

【0148】

(付記6) 前記紹介対象システムが、過去の紹介行為および登録行為に基づき前記インセンティブ提供部が与えているインセンティブの内容、または、将来の紹介関係に基づき前記インセンティブ提供部が提供を予定しているインセンティブの内容を、前記紹介元システムまたは前記紹介先システムに対して通知するインセンティブ通知部を備えた付記4または5に記載の紹介システム。

【0149】

(付記7) 前記紹介先システムの登録部において、前記紹介対象システムのエントリ情報が前記ユーザリストから削除されるか、もしくは紹介先システム自身がその利用者に利用されなくなった場合、前記紹介元システムと前記紹介先システム間の紹介関係の認知または確認を無効とする付記1～6のいずれかに記載の紹介システム。

【0150】

(付記8) ユーザに対応づけて記憶されている参照ユーザをユーザの要求に応じて表示装置上に一覧表示し、一覧表示された複数の参照ユーザの1つを選択して他の参照ユーザの表示領域に仮想移動操作を行なったことを検知することにより、選択した参照ユーザに対して前記他の参照ユーザを紹介する紹介情報を送出するとともに、当該ユーザと選択された参照ユーザと前記他の参照ユーザとを含む紹介関係情報を蓄積することを特徴とする紹介支援方法。

【0151】

(付記9) ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介方法であって、

前記紹介元システムが、

前記紹介対象システムのユーザエントリ情報を含む紹介情報を前記紹介先システムに通知し、

前記紹介先システムが、

前記紹介元システムから通知された紹介情報を受信し、前記紹介対象シス

ムのユーザエントリ情報をユーザリストに登録し、

前記バディリストにおける前記紹介対象システムのユーザエントリ情報のユーザリストへの登録を検知し、当該登録行為があったことを示す被紹介情報を前記紹介対象システムに通知し、

前記紹介対象システムが、

前記紹介先システムから通知された被紹介情報を受信し、当該情報をもとに前記紹介先システムにおけるユーザリストへの登録行為を認知することを特徴とする紹介方法。

【0152】

(付記10) ネットワークに接続された複数のコンピュータシステム間において、紹介元システムが紹介先システムに対して紹介対象システムを紹介する紹介システムを構築する処理ステップを備えたプログラムであって、

紹介元システム処理プログラムが、

前記紹介対象システムのユーザエントリ情報を含む紹介情報を前記紹介先システムに通知する紹介処理ステップを備え、

前記紹介先システムの処理プログラムが、

前記紹介元システム処理プログラムの紹介処理ステップより通知された紹介情報を受信し、前記紹介対象システムのユーザエントリ情報をユーザリストに登録する登録処理ステップと、

前記登録処理ステップにおける前記紹介対象システムのユーザエントリ情報のユーザリストへの登録を検知し、当該登録行為があったことを示す被紹介情報を前記紹介対象システムに通知する登録行為通知処理ステップを備え、

前記紹介対象システムの処理プログラムが、

前記紹介先システム処理プログラムの登録行為通知処理ステップより通知された被紹介情報を受信し、当該情報をもとに前記紹介先システムにおけるユーザリストへの登録行為を認知する登録認知処理ステップを備えたことを特徴とするプログラム。

【0153】

【発明の効果】

本発明の紹介システムによれば、紹介元システムから紹介先システムに対する紹介行為およびバディリストへの登録行為が円滑に行なわれ、バディリスト登録行為があったことを紹介対象システムが認知することができる。

【0154】

また、本発明の紹介システムによれば、紹介対象システムが、紹介元システムから紹介行為のいわゆる自己申告を受け、紹介先システムからの登録行為の通知内容と照会することにより紹介行為を確認することができる。

【0155】

また、本発明の紹介システムによれば、紹介行為や登録行為が認知、確認された紹介元システムや紹介先システムの利用者にインセンティブを提供することができ、紹介対象システムのバディリストへの登録を促進することができる。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】 本発明の実施形態1の紹介システムの概略構成を示す図
- 【図2】 紹介元システムにおいて生成される紹介情報の例を示す図
- 【図3】 紹介先システムにおいて生成される被紹介情報の例を示す図
- 【図4】 紹介対象システムにおいて生成される被紹介認知情報の例を示す図
- 【図5】 交換サーバ400の構成例を示す図
- 【図6】 紹介元システム100における紹介処理を示すフローチャート
- 【図7】 紹介先システム200における登録処理を示すフローチャート
- 【図8】 紹介対象システム300における登録認知処理を示すフローチャート
- 【図9】 バディリストの表示画面の例を示す図
- 【図10】 バディリストを用いた紹介操作を説明する図
- 【図11】 紹介情報を登録するか否かの選択画面の例を示す図
- 【図12】 本発明の実施形態2の紹介システムの概略構成を示す図
- 【図13】 紹介元システムにおいて生成される紹介情報の例を示す図
- 【図14】 紹介元システム100aにおける紹介処理を示すフローチャート
- 【図15】 紹介対象システム300aにおける登録認知処理および登録確認処理を示すフローチャート

- 【図16】 本発明の実施形態3の紹介システムの概略構成を示す図
【図17】 本発明の実施形態3の紹介システムの他の概略構成を示す図
【図18】 本発明の実施形態3のインセンティブの内容を提示する場合の構成を示す図
【図19】 本発明の実施形態4の紹介システムの概略構成を示す図
【図20】 紹介確認部340eによる紹介関係の更新処理を示す図
【図21】 紹介確認部340eによる紹介関係の更新確認処理を示す図
【図22】 本発明の実施形態5の紹介システムを実現する処理プログラムを記録した記録媒体の例を示す図

【図23】 従来のバディリストシステムの構成を示す図

【符号の説明】

100, 100a~100e 紹介元システム

110 バディリスト管理部

111 バディリスト登録部

112 バディリスト記憶部

120, 120e 紹介部

121 紹介情報生成部

122 紹介情報通知部

123 紹介更新情報通知部

200, 200a~200e 紹介先システム

210 バディリスト管理部

211 バディリスト登録部

212 バディリスト記憶部

213 登録情報通知部

214 状態情報受信部

215 状態情報表示部

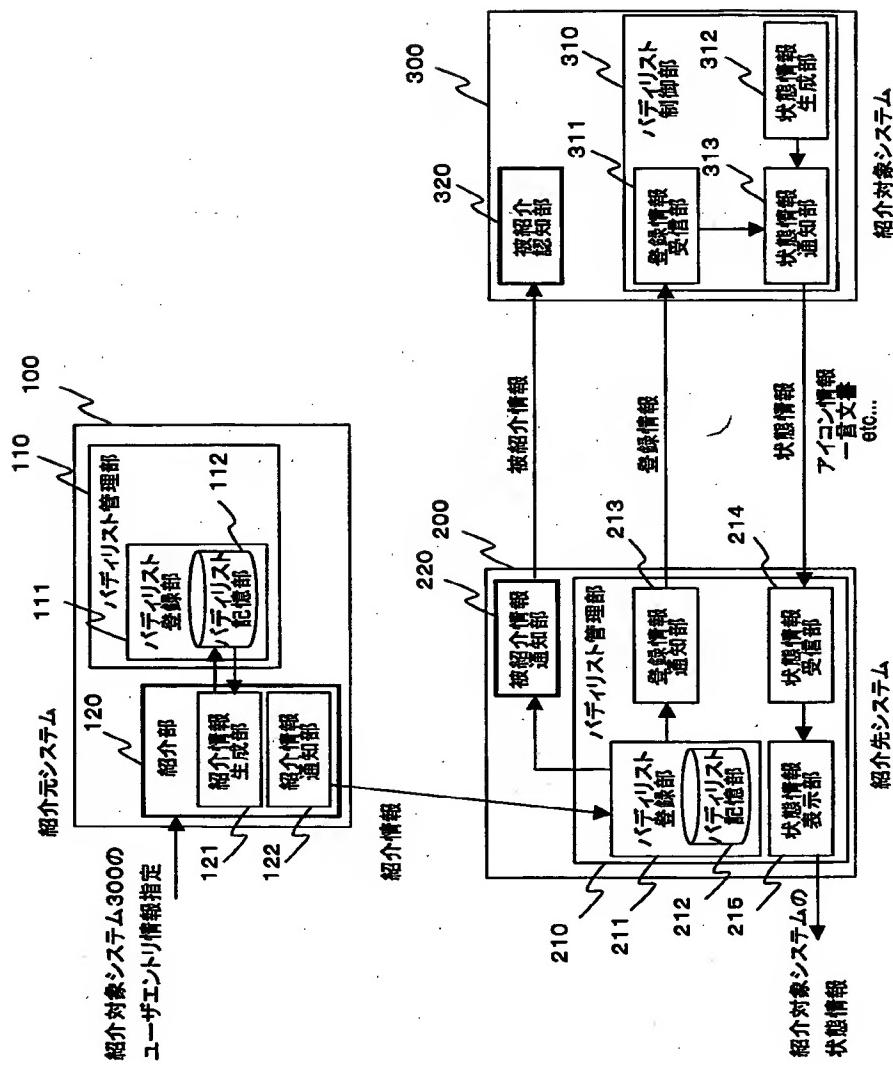
220, 220e 被紹介情報通知部

221 被紹介更新情報通知部

300, 300a~300e 紹介対象システム

- 310 バディリスト制御部
- 311 登録情報受信部
- 312 状態情報生成部
- 313 状態情報通知部
- 320, 320e 被紹介認知部
- 321 被紹介更新認知部
- 330, 330e 紹介認知部
- 331 紹介更新認知部
- 340, 340e 紹介確認部
- 350 インセンティブ提供部
- 360 インセンティブ情報通知部
- 400 情報交換サーバ
- 1000 ネットワーク上にある記録装置内の記録媒体
- 1001 可搬型記録媒体
- 1002 CD-ROM
- 1003 フレキシブルディスク
- 1004 コンピュータ
- 1005 コンピュータのハードディスクやRAM等の記録媒体

【書類名】図面
【図1】



【図2】

紹介情報

紹介元システムの識別子情報	紹介先システムの識別子情報	紹介対象システムの識別子情報	その他情報
A	B	C	2001.07.03

【図3】

被紹介情報

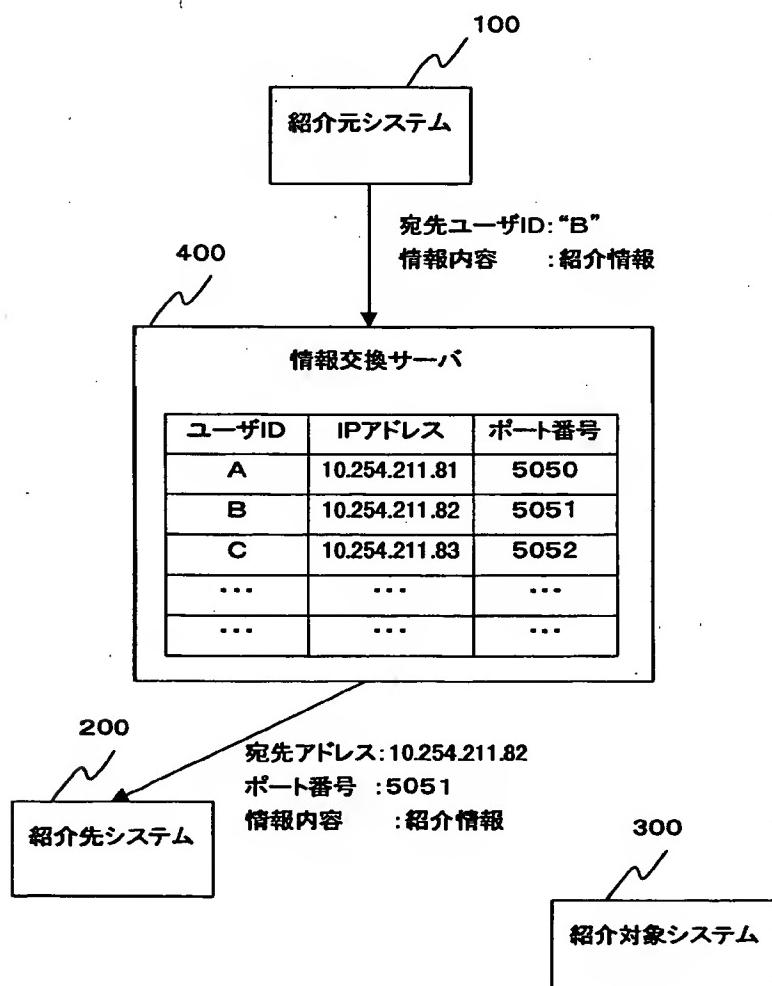
紹介元システム の識別子情報	紹介先システム の識別子情報	紹介対象システム の識別子情報	その他情報
A	B	C	2001.07.03

【図4】

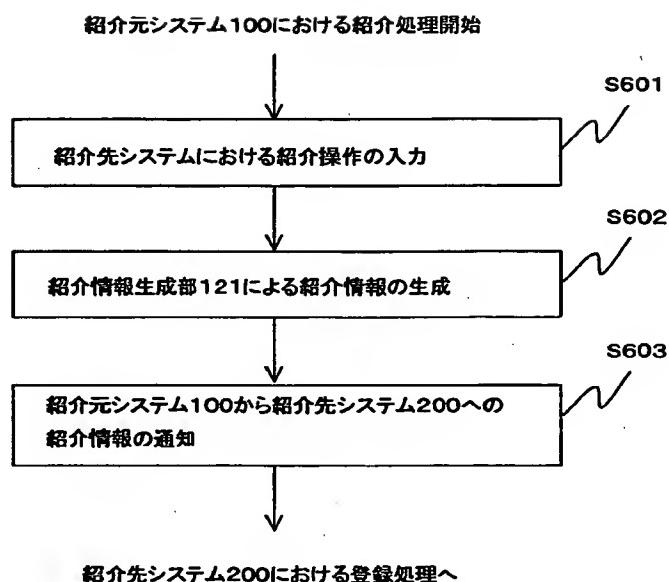
被紹介認知情報

紹介元システム の識別子情報	紹介先システム の識別子情報	その他情報
A	B	2001.07.03

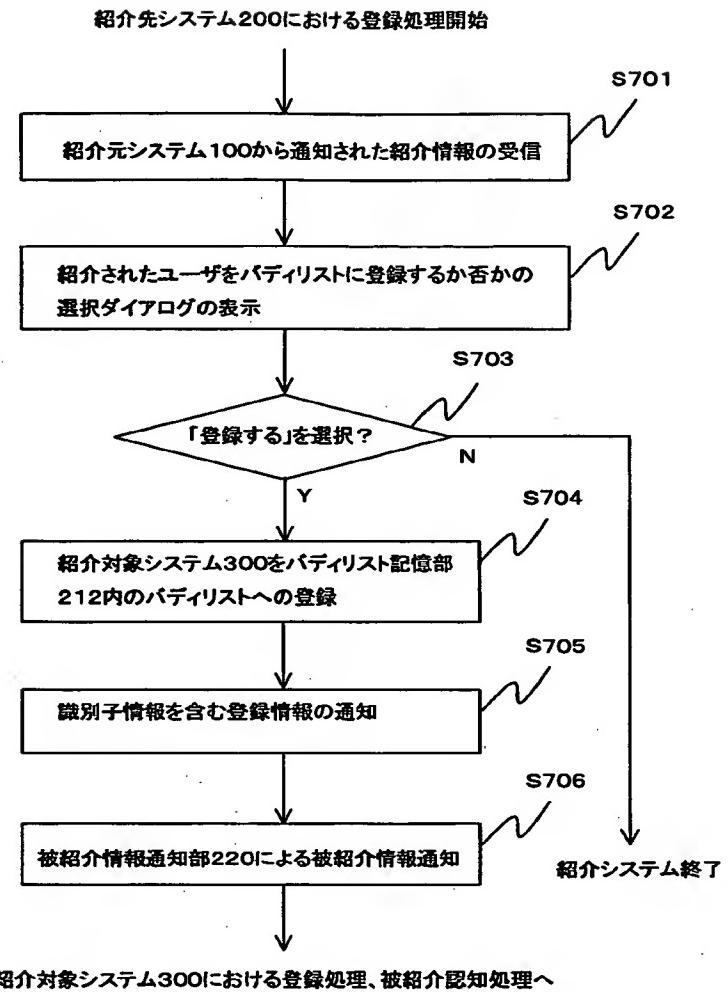
【図5】



【図6】

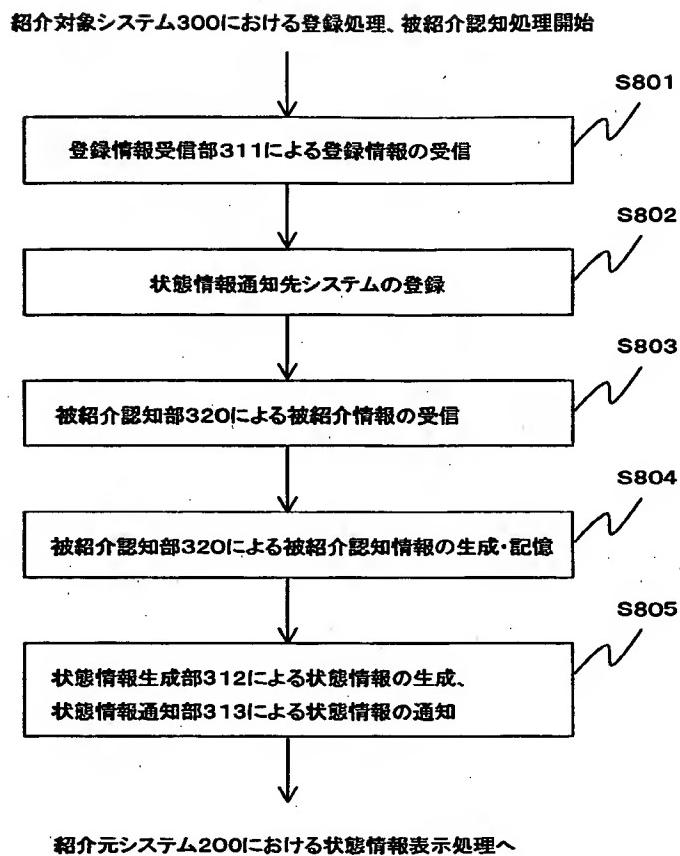


【図7】

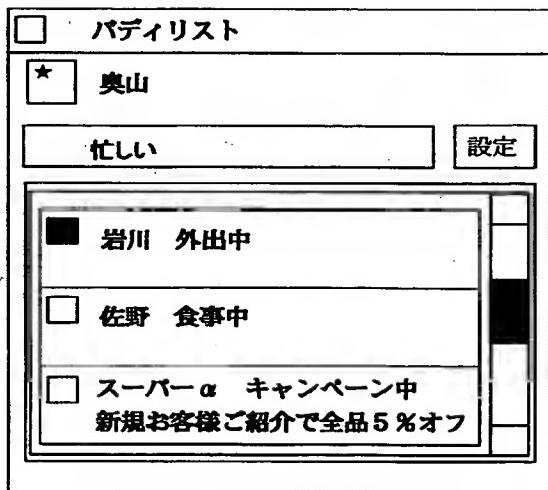


紹介対象システム300における登録処理、被紹介認知処理へ

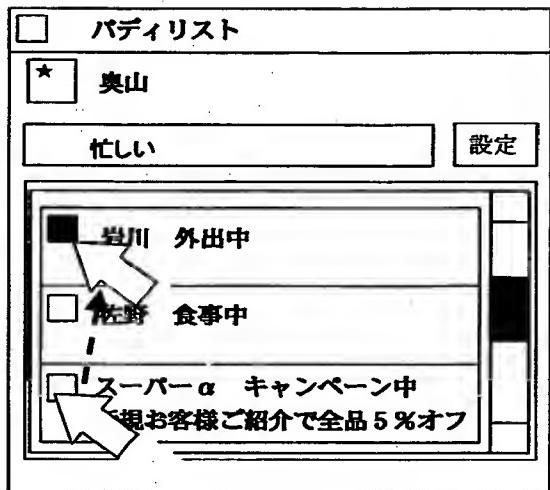
【図8】



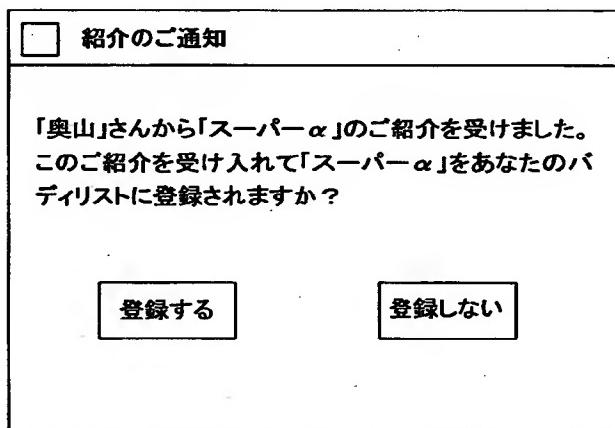
【図9】



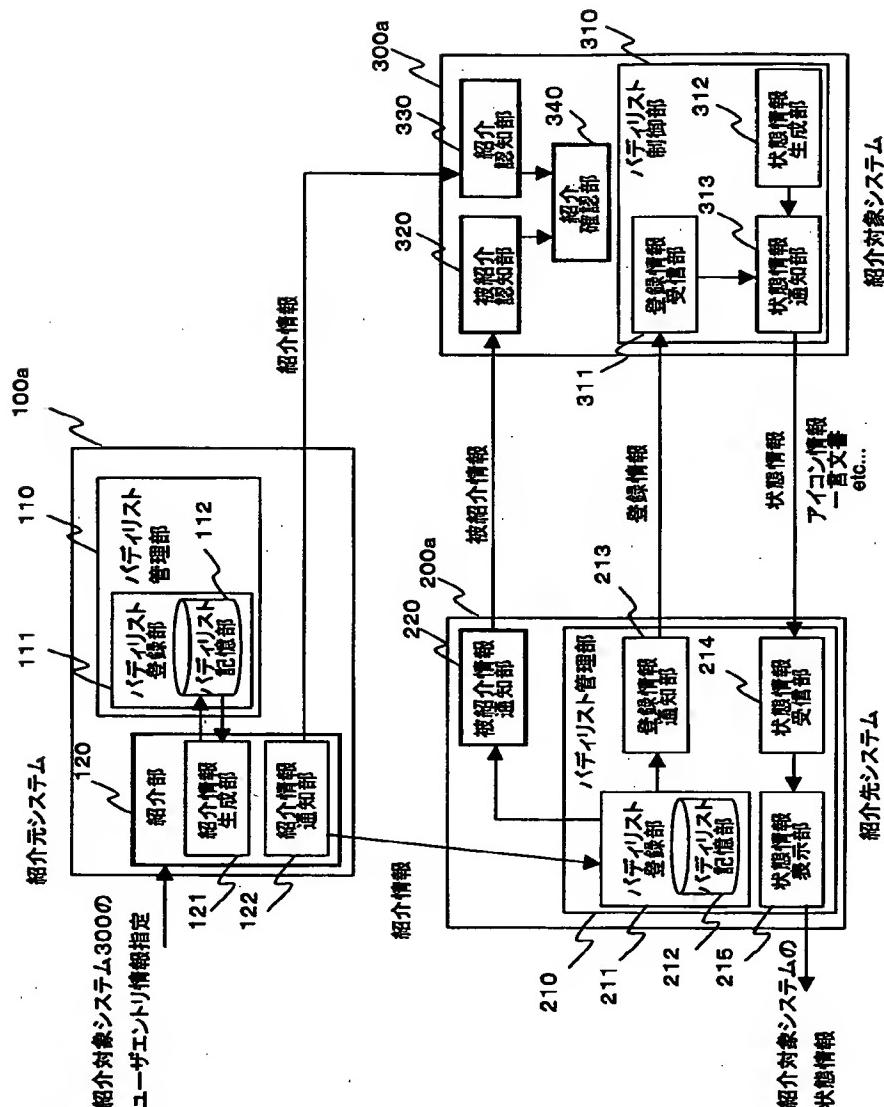
【図10】



【図11】



【図12】

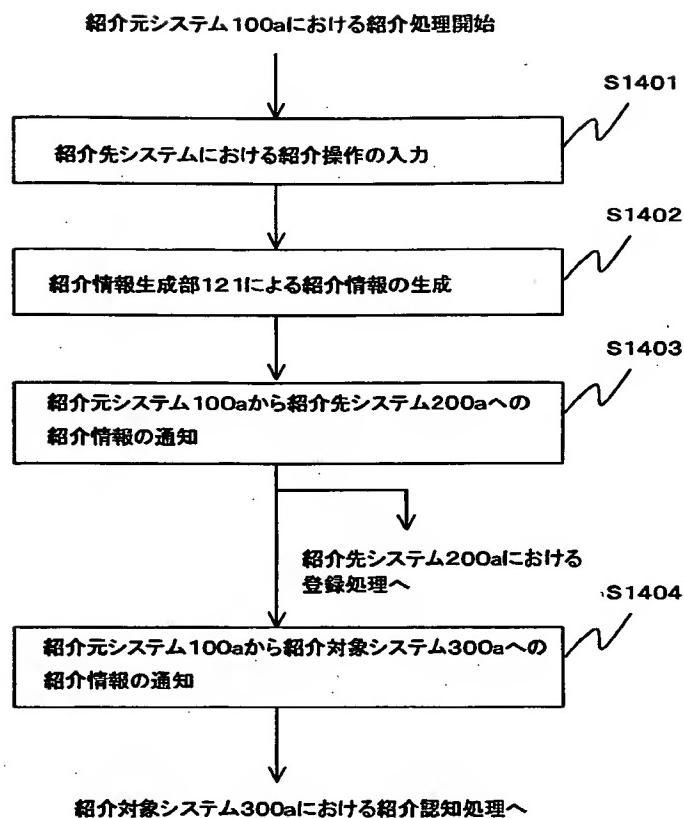


【図13】

紹介認知情報

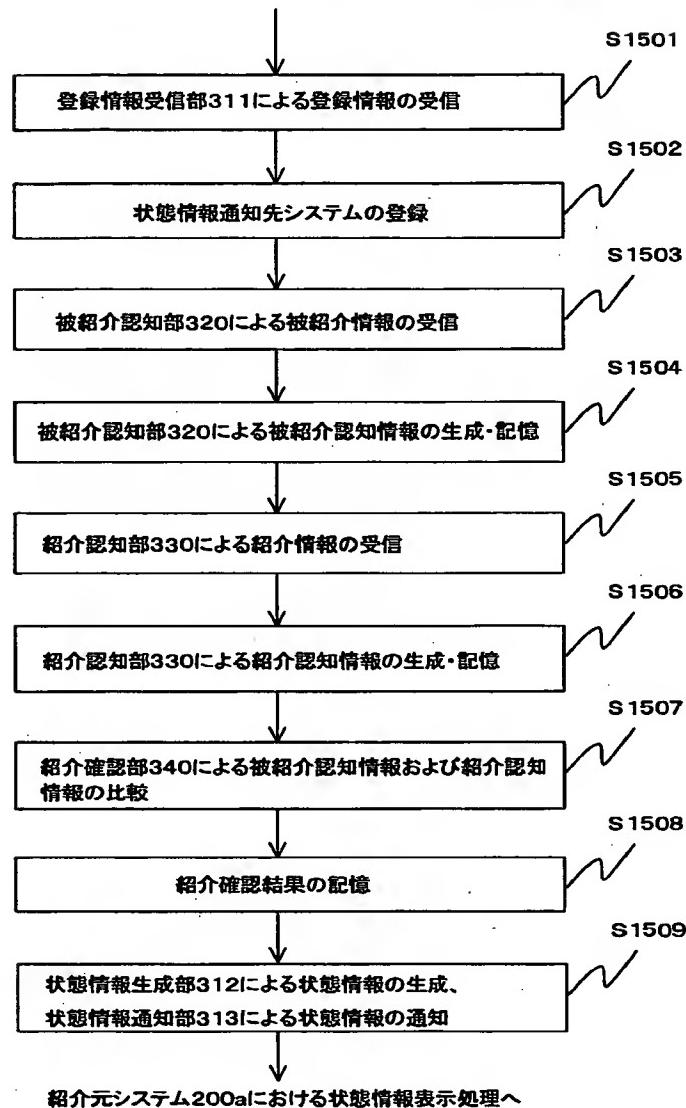
紹介元システムの識別子情報	紹介先システムの識別子情報	その他情報
A	B	2001.07.03

【図14】

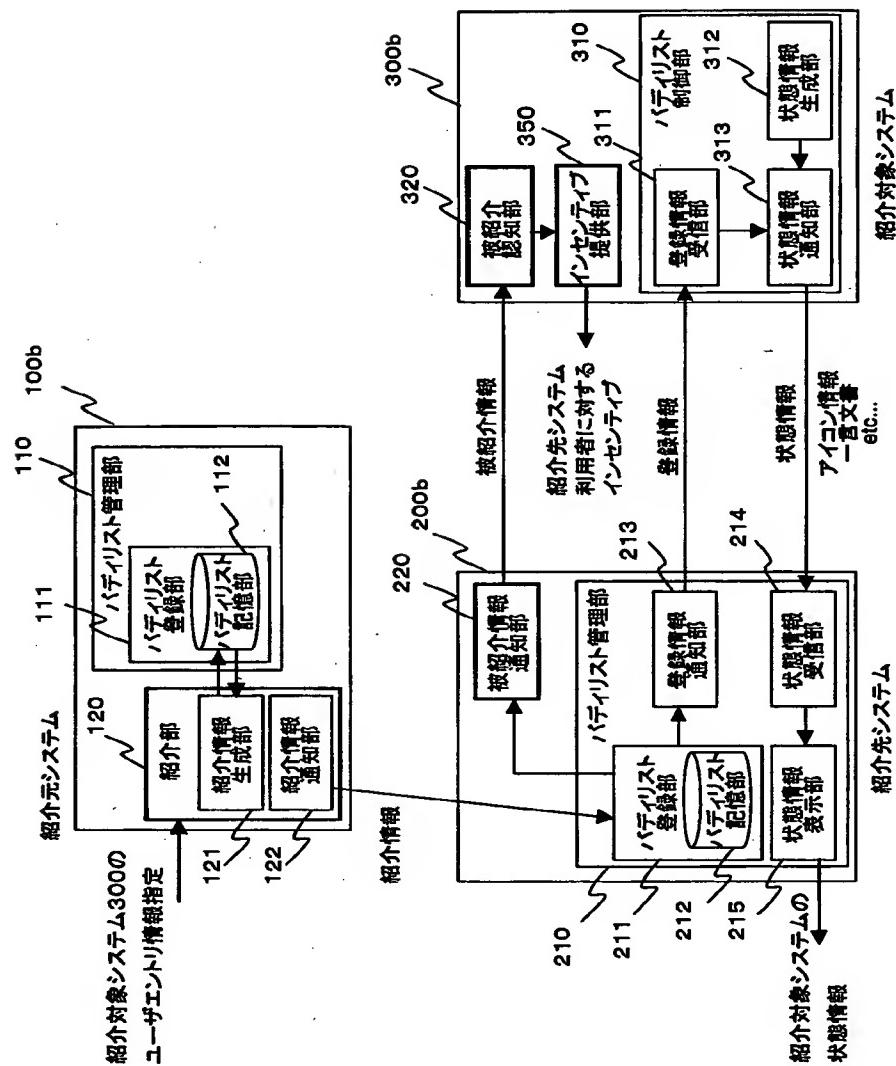


【図15】

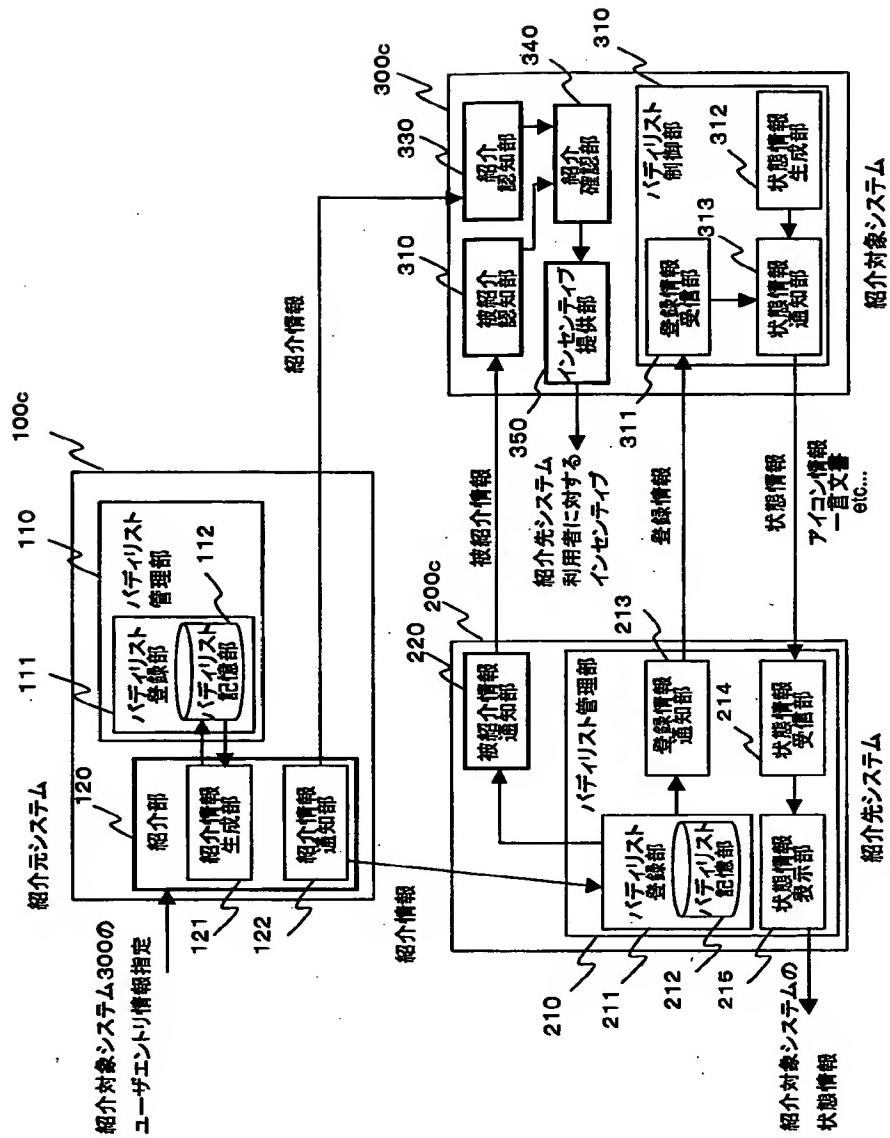
紹介対象システム300aにおける登録処理、被紹介認知処理開始



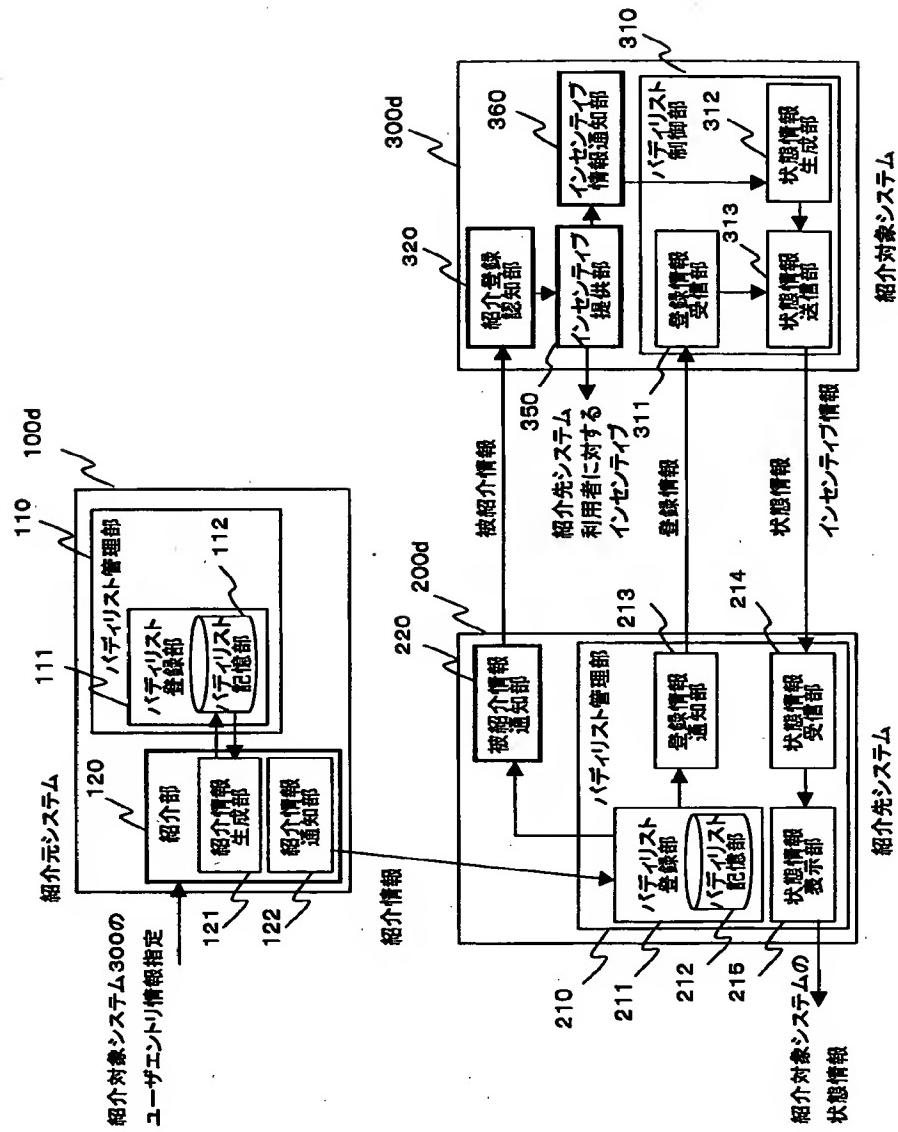
【図16】



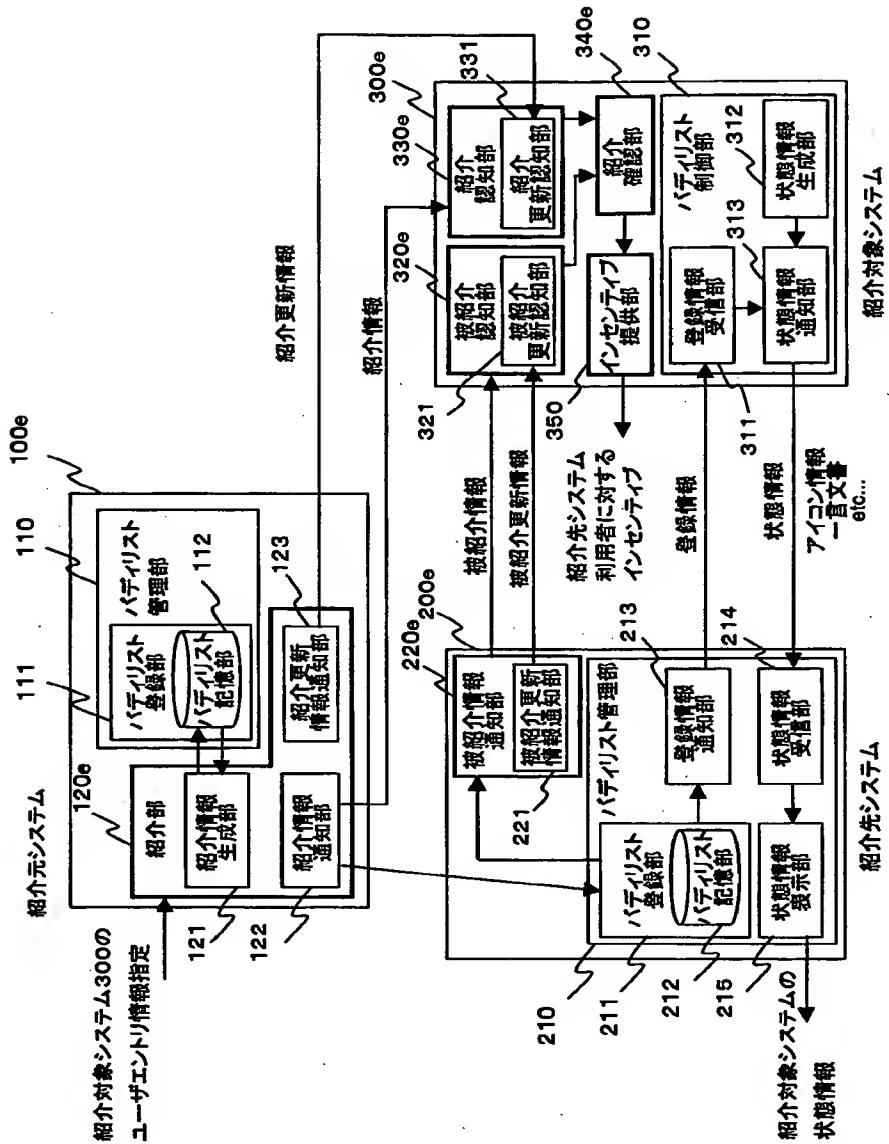
【図17】



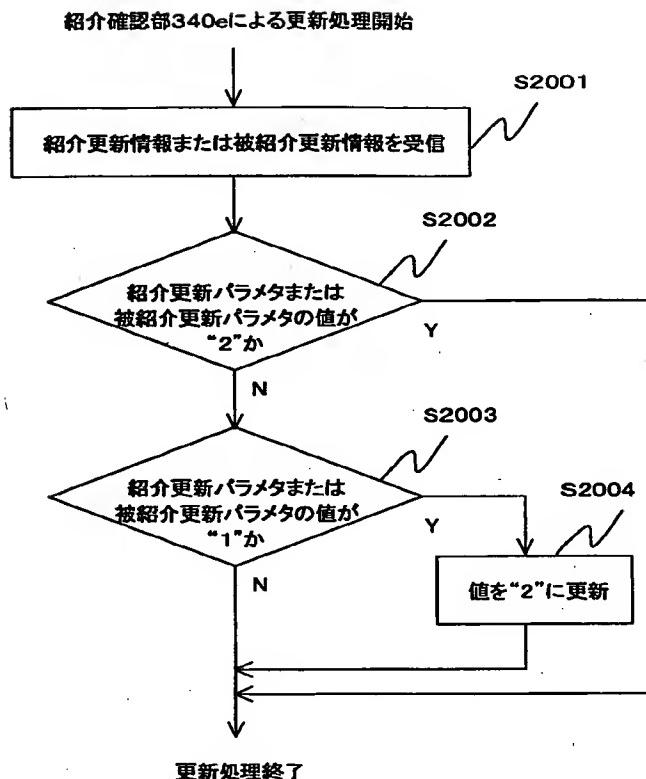
【図18】



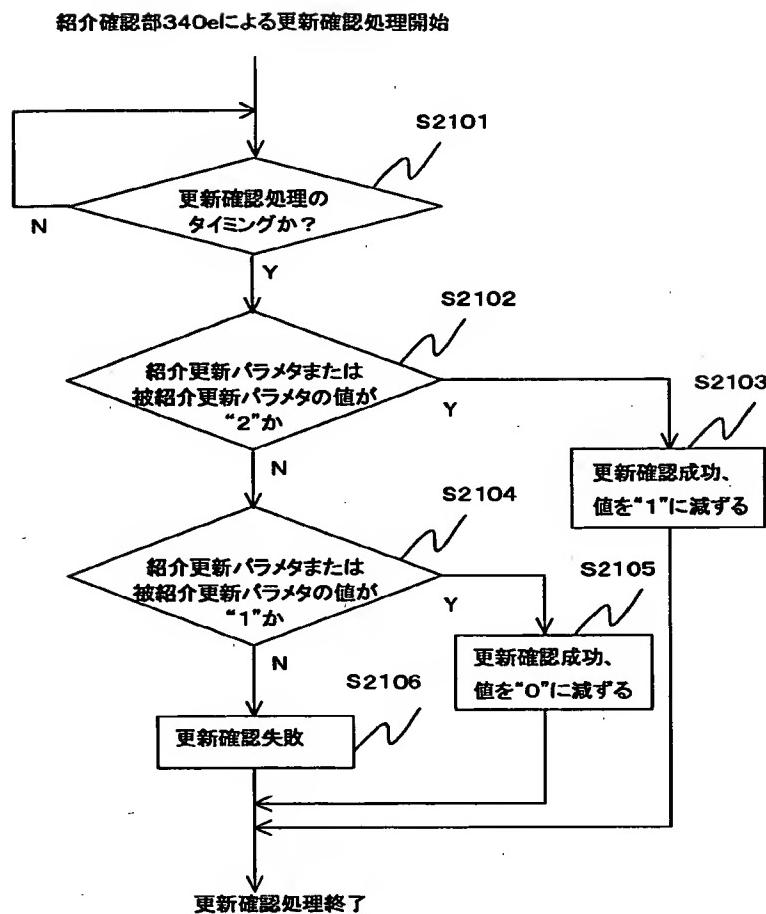
【図19】



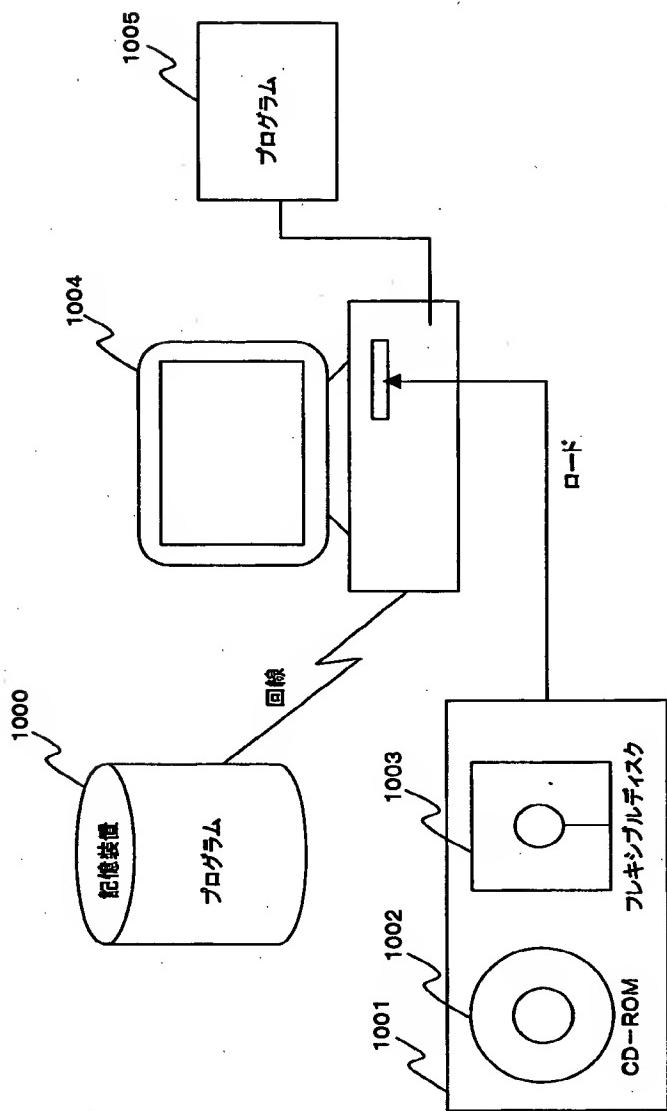
【図20】



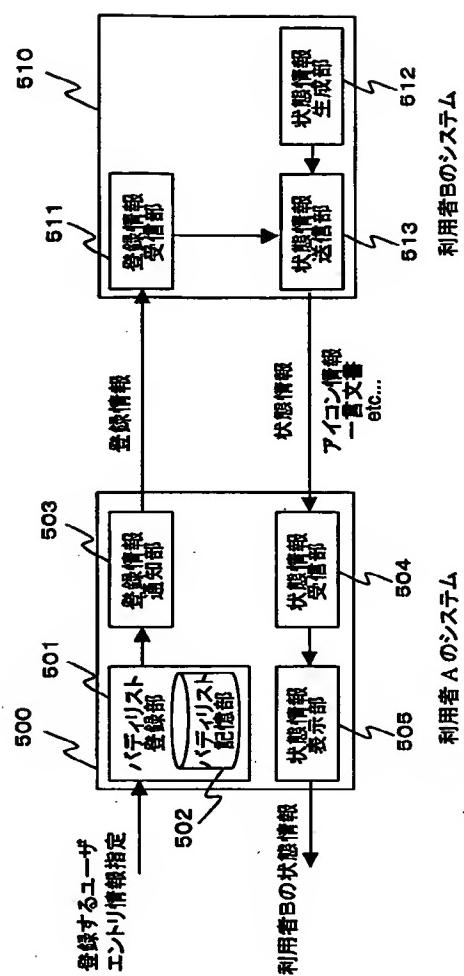
【図21】



【図22】



【図23】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 バディリストシステムへの登録作業を削減し、他の利用者からの紹介によりバディリストシステムへの登録を促進することを目的とする。

【解決手段】 紹介元システム100の利用者の指定に従い、紹介部120の紹介情報生成部121はバディリスト記憶部112中のデータをもとに紹介情報を生成し、紹介情報通知部122により紹介先システム200に通知する。紹介先システム200のバディリスト登録部211は紹介情報をもとにバディリスト中にユーザ登録して登録情報を生成し、登録情報通知部213は紹介対象システム300に通知する。また、紹介元システム100から紹介を受けた旨の被紹介情報を通知する。紹介対象システム300の被紹介認知部320は紹介関係を認知する。また、状態情報通知部313は登録情報をもとに状態情報を紹介先システム100に通知する。

【選択図】 図1

特2001-215759

出願人履歴情報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日
[変更理由] 住所変更
住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社